

## オーディオ実験室収載

### アースアキュライザーの活用(5)(HP 収載) —Stella Harmony と仮想アースの接続—

#### 1. 始めに

前報(4)に引き続き、やり残した機器について追加の検討を行っていきます。

#### 2. アースアキュライザーEA-1 の試聴計画

前報(4)では、AXIOM80 について実施しましたが、同様に別宅から引き揚げてきました Acoustic Lab の Stella Harmony について久しぶりの試聴方々、スピーカー端子への接続を検討します。

スピーカーアキュライザーを経由するように配線し、Stella Harmony のマイナス端子にアースアキュライザーで自作の仮想アースを接続します。自作仮想アースは、アースアキュライザーの導入(16)で使用したものです。駆動アンプは Pilotone の Tungsol 5881pp アンプです。



#### STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

ベルリンフィルデジタルコンサートホール

フランツ・リスト ピアノ協奏曲 1 番

エフゲニー・キーシン (ピアノ)

### 3. アースアキュライザーEA-1 の試聴結果

**Stella Harmony** を聴くのは久しぶりで、おだやかで耳あたりがよく低音も膨らみがある鳴り方をします。

**Stella Harmony** のスピーカー端子のマイナス端子に自作仮想アースをアースアキュライザーで接続しますと次のようになりました。

ベートーヴェンのピアノソナタは、サイズの割にはスケール感のある音を聴かせてくれますが、ピアノの打鍵も余韻もクリアーさが不足しています。自作仮想アースをアースアキュライザーで接続しますと、クリアーさが向上し、スケール感が生きてきます。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータは、ソフトで滑らかな音ですが、自作仮想アースをアースアキュライザーで接続しますと、滲みが消えて滑らかさに切れ味も加わってきます。

リストのピアノ協奏曲 1 番は、ピアノもオーケストラもサイズの割にはスケール感のある音ですが、ぼやけ気味のところがあり、自作仮想アースをアースアキュライザーで接続しますと、ピアノもオーケストラも低音の締まりの改善は十分ではありませんが、音像はしっかり立って、特にピアノの高音は綺麗に響きます。

### 4. まとめ

**Stella Harmony** のスピーカー端子のマイナス端子に自作仮想アースをアースアキュライザーで接続する効果を認めました。

以上